

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム 宮ノ里

作成日：令和元年5月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	9 10 19	入居者全てのご家族と密に連絡をとりあうことは難しいが、要望や意見を伺う機会を設けて行きたい。	お便り作成の継続と内容の工夫、アンケート調査の実施。 連絡、情報交換の共有の仕方の工夫。	お便り作成の勉強会。 アンケート調査の実施。 連絡ノートの作成。	3～6 か月
2	49	日常的な外出支援がほとんど出来ていない。職員だけではなく、ご家族や地域の方の支援も求めながら外出の機会を作る。	外出希望者の気持ちを大切にします。	6月から職員数が増えるので、シフトで人員を手厚くし、計画的に外出支援を行う。	3 か月
3	35	廊下中央部の非常口の屋外側が階段で避難路も舗装されておらず、車イス移動に支障をきたす恐れがある。入居者の重度化に伴い避難路の在り方を検討する必要がある。	重度化に伴い、避難路の在り方を検討する。	舗装工事は短期間で行う事が難しいが、まずは段差の解消のための板の設置を行う。	3 か月
4	23	ひとりひとりの思いやりや要望などを職員がそれぞれ感じたり把握したりはしていても、それを共有するまでには至っていない場合が多い。気持ちの発信の難しい方への課題がある。	ひとりひとりの思いをくみ取り、職員間で共有する。	各ユニットで月1回の検討会を行う。入居者の思いや仕草、表情から感じられることなどを共有する。 検討会の内容は記録し、両ユニットで共有する。	2 か月
5	6	身体拘束をしないケアはほぼ実践出来ているが、玄関の施錠を行わざるを得ない場面がある。	身体拘束をしないケアの継続のための学習会の開催。	これまで学習会を3ヶ月に1度してきたが、それを継続する。 玄関のセンサーの設置で、施錠しない取り組みの徹底。	3 か月